

朝日信用金庫からの寄付を活用して導入！ オリジナルデザインの電気自動車が区内を走り回ります！

区は、昨年11月に朝日信用金庫（東京都台東区）から受領した寄付を活用して、電気自動車2台を新たに導入、8月23日（金）に隅田公園そよ風ひろば（墨田区向島1-3）にてオリジナルのラッピングデザインをお披露目しました。

これは、同金庫の「朝日信用金庫 創立100周年記念事業『地元応援団』」に、環境保全災害予防事業として申請し、採択されたものです。

導入した電気自動車のラッピングデザインは、区と包括連携協定を締結する千葉大学デザイン・リサーチ・インSTITUTE（dri）が制作した3案から、今年6月15日・16日の2日間にわたって開催した「すみだ環境フェア2024」において来場者による人気投票を行い、600件を超える投票の中から2案を選定しました。

新たな電気自動車は、8月25日（日）に区内キャンパスコモン（墨田区文花1-19）にて開催した「大学のあるまちの 夏まつり」にて、来場者にもお披露目されました。

今回お披露目した2台は、9月下旬から区の庁用車として実際に稼働する予定です。

朝日信用金庫 創立100周年記念事業『地元応援団』

同金庫の創立100周年を記念し、日頃から関係性の深い各地方公共団体における、地域課題解決及びSDGsに寄与する地域創生事業等事業に対して支援（寄付）するもの。



（左から）山本 亨 墨田区長、朝日信用金庫 伊藤 康博 理事長、千葉大学dri 張 益準 准教授

今後の展開

区は、令和3年10月に「すみだゼロカーボンシティ2050宣言」を表明し、地球温暖化を防ぐための行動を加速させ、2050年に二酸化炭素排出実質ゼロを目指しています。

本件では、庁有車を電気自動車に替え、ゼロカーボンシティに向けた啓発に繋がるラッピングを施すことで、「走る広告塔」として、区民や区内事業者に対してエコカーの普及啓発をはじめとした環境啓発を行ってことをめざしています。今後は、区内各所で行われるイベントにも積極的に活用し、区民などの目に触れる機会を多く創り出していきます。

さらに、今回、電気自動車と併せて電気自動車用外部給電器も導入し、環境啓発のほか、災害時の電力としても活用することを広くPRしていきます。

本件に関するお問い合わせ先

墨田区 企画経営室 行政経営担当（公民学連携担当）

TEL: 03-5608-6230

FAX: 03-5608-6407

E-mail: GYOUSEI@city.sumida.lg.jp